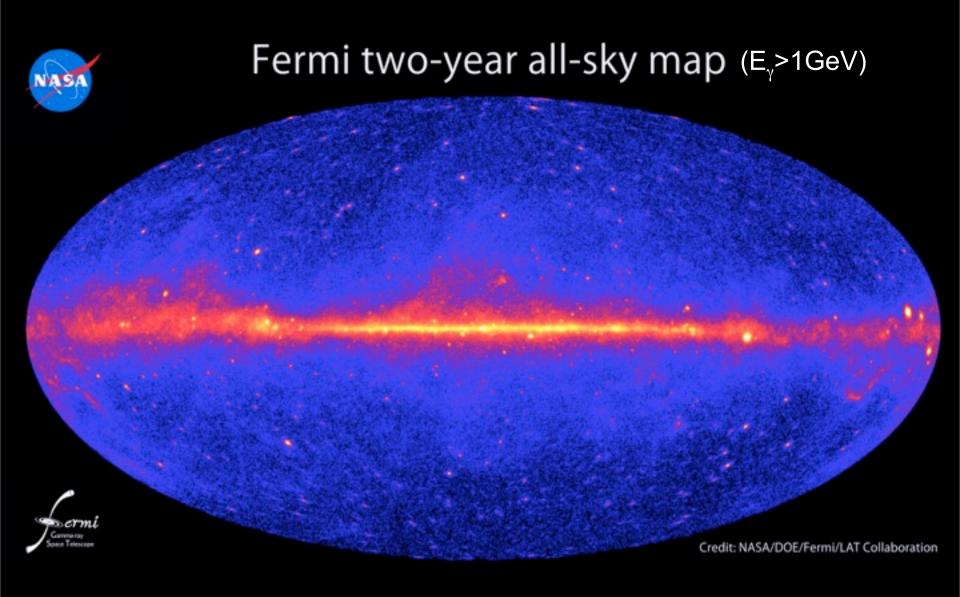
GRAINE実験

Gamma-Ray Astro-Imager with Nuclear Emulsion

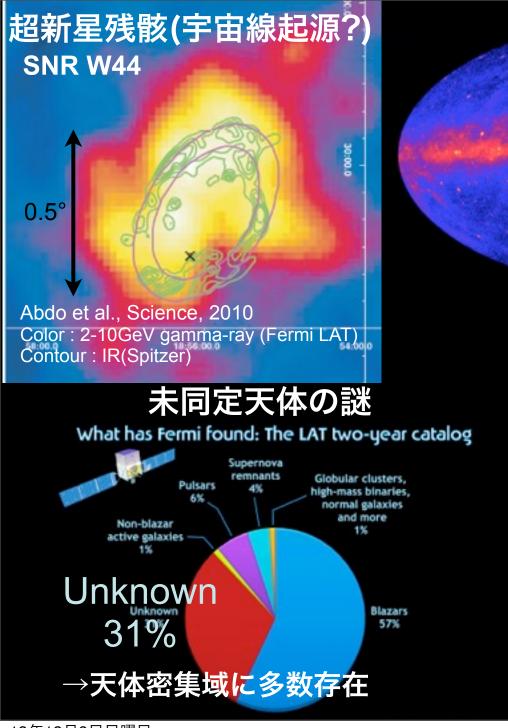
青木茂樹(神戸大)/六條宏紀(名古屋大) and GRAINE collaboration 神戸大学、ISAS/JAXA、名古屋大学、 岡山理科大学、愛知教育大学、宇都宮大学

B01:「超高解像度ニュートリノ検出器の開発」 ⇒他分野へのアプリケーション

photo: GRAINE 1st flight (2011) @ JAXA大樹航空宇宙実験場



1873 sources





ガンマ線の到来方向決定

gamma-ray

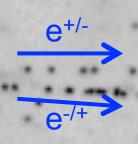
e⁺
nuclear/electron

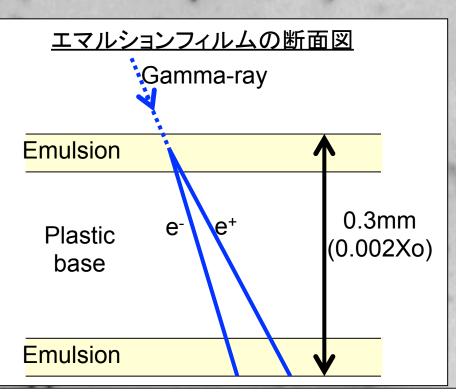
$$\tan \theta_{\gamma} = \frac{P_e \sin \theta_e + P_p \sin \theta_p}{P_e \cos \theta_e + P_p \cos \theta_p}$$

原子核乾板(エマルション)

Microscopic view 10micron

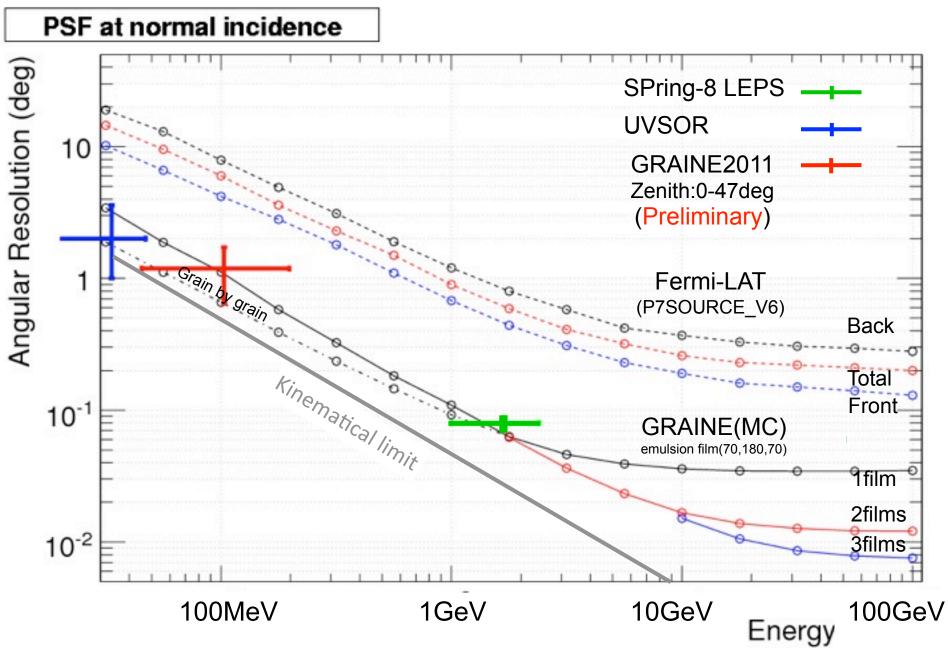


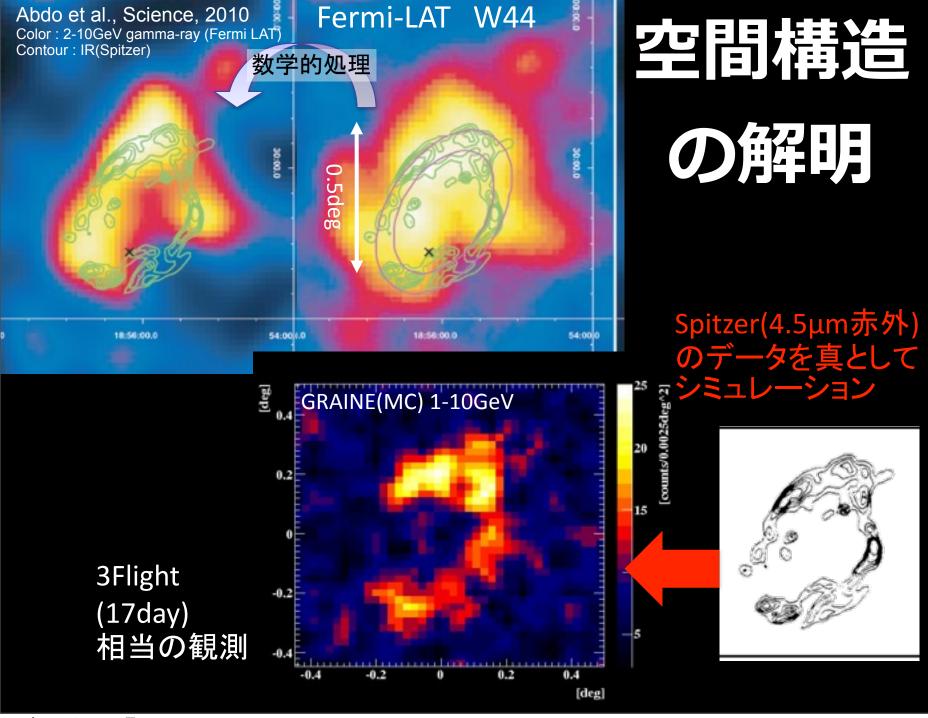




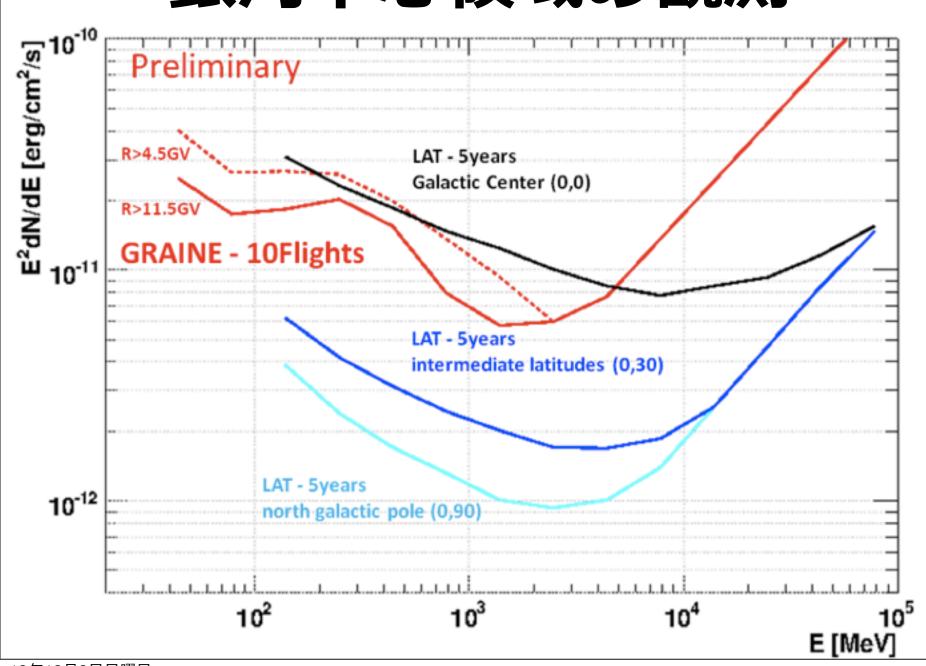
- ◎優れた空間分解能
- ◎少ない通過物質量
- ○軽量
- ◎大面積化可能
- ◎安価

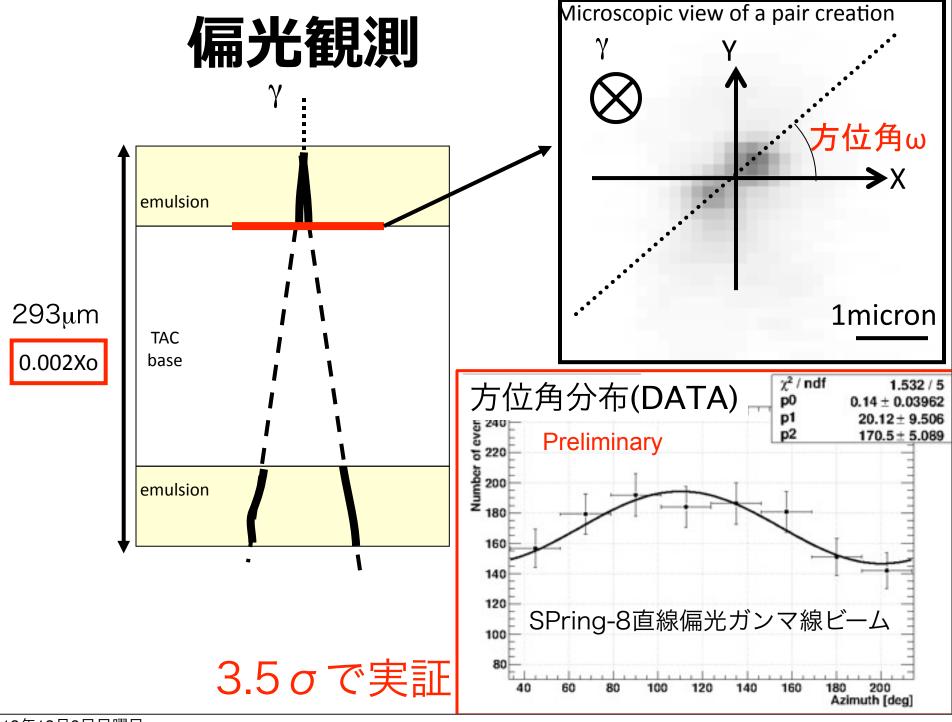
ガンマ線 角度分解能



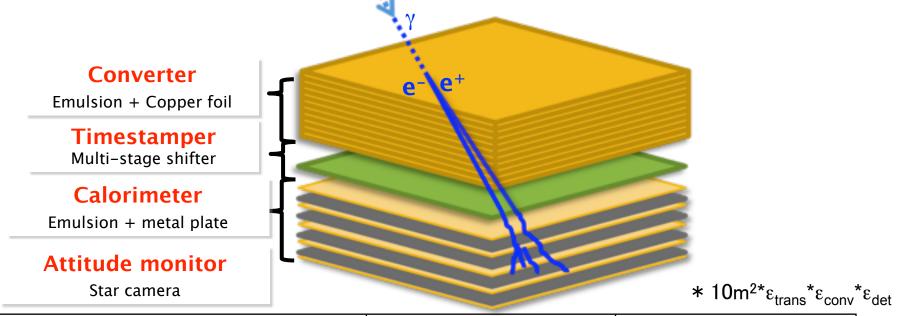


銀河中心領域の観測





エマルションガンマ線望遠鏡



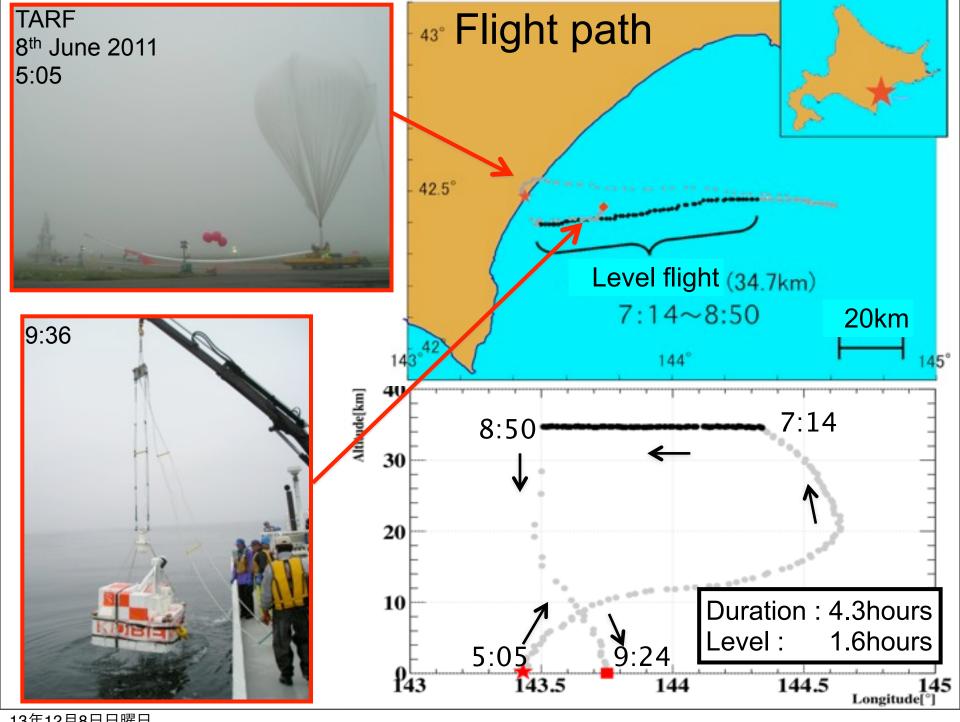
	Fermi LAT x1/0	GRAINE
Angular resolution@100MeV	6.0deg (105mrad) →	► 1.0deg (17mrad)
@1GeV	0.90deg (16mrad) ×1/9	0.1deg (1.7mrad)
Energy range	20MeV - 300GeV	10MeV - 100GeV
Polarization sensitivity	No	Yes
Effective area @ 100MeV	0.25m ²	2.1 m ² *
@ 1GeV	0.88m ² x	2.8m ² *
Dead time	$26.5 \mu \text{sec}$ (readout time)	Dead time free

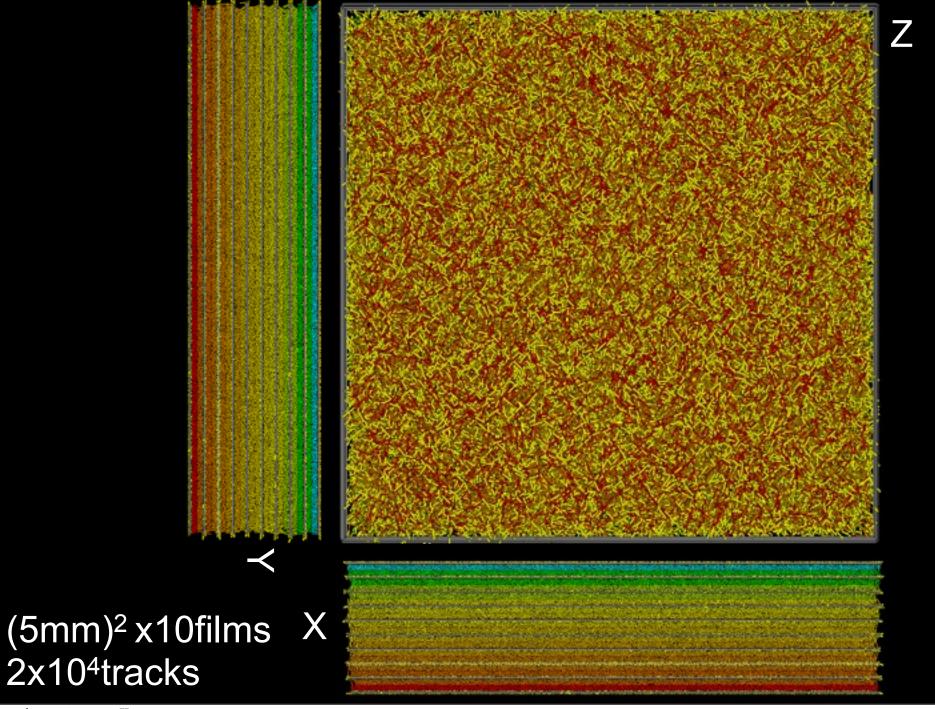
GRAINE ロードマップ

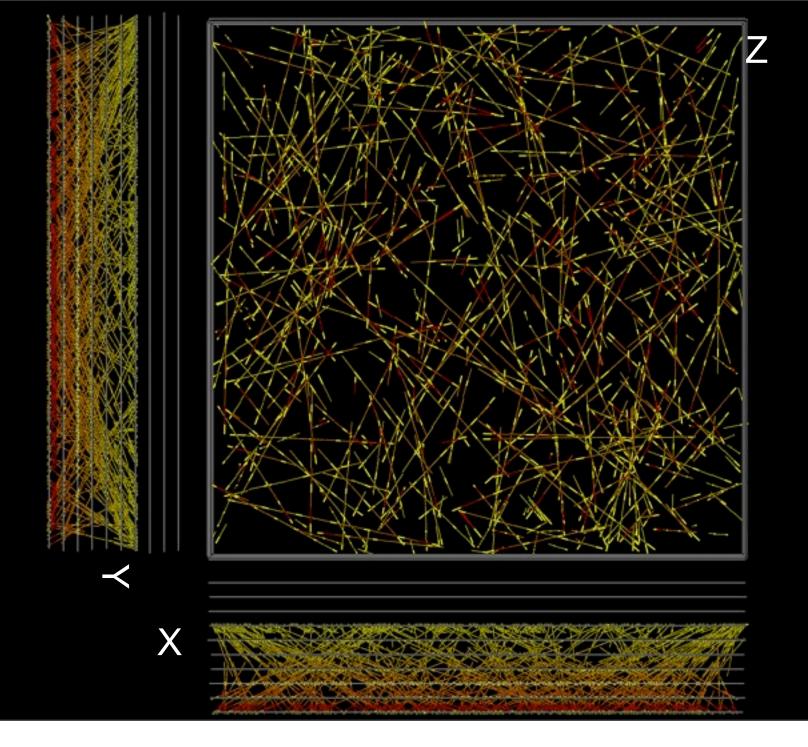
- 2011年6月8日,大樹航空宇宙実験場(北海道), JAXA大気球実験
 - 口径面積:12.5cm x 10cm, フライト時間:4.3時間 (1.6時間@35km)
 - 各構成要素の動作・性能実証、及び連動実証
 - 大気ガンマ線の実測

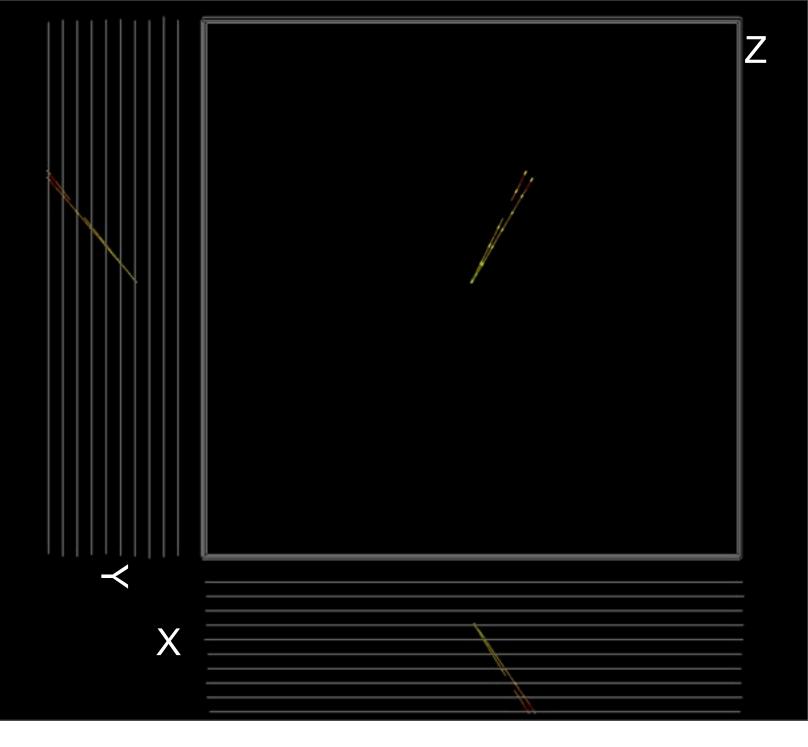
OPERAフィルム(一部に 新型原子核乳剤フィルム)

- 2014年度(予定), アリススプリングス(豪), JAXA国際大気球実験
 - 口径面積:2500cm²,フライト時間:1日
 - 既知のガンマ線天体の観測試験
 - 最高解像度での撮像
- 2015年度-
 - 口径面積:10m², フライト時間:7日間を繰り返す
 - 科学観測開始 フィルム総面積~1500m²/フライト

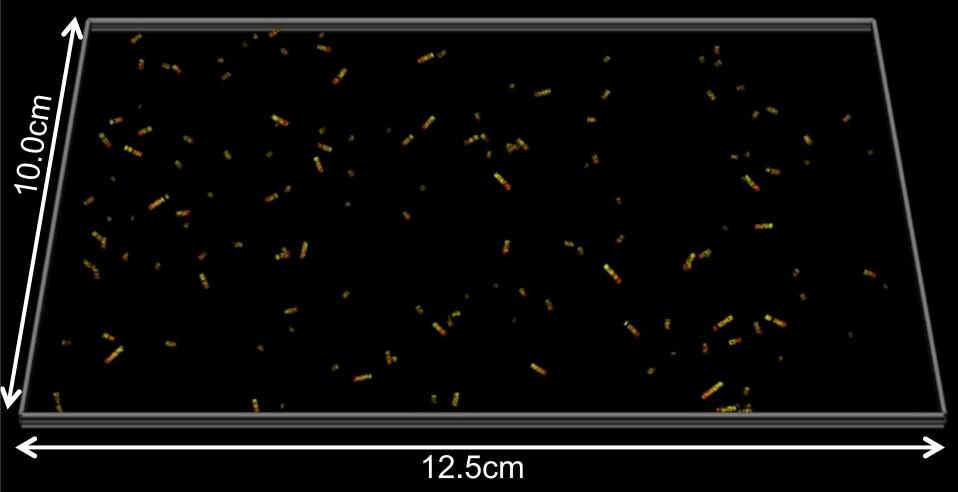




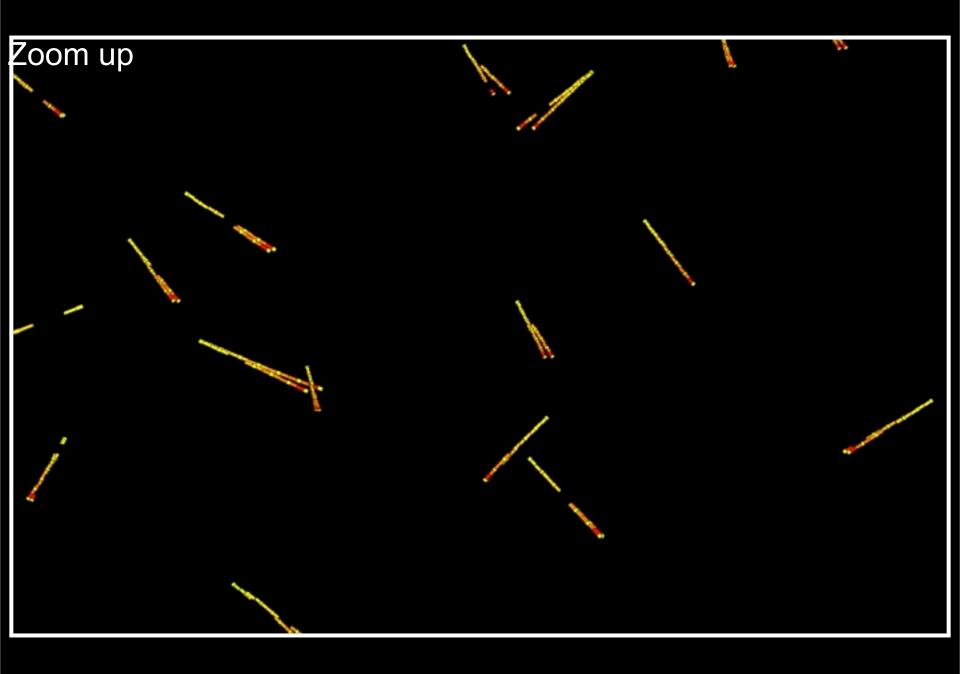




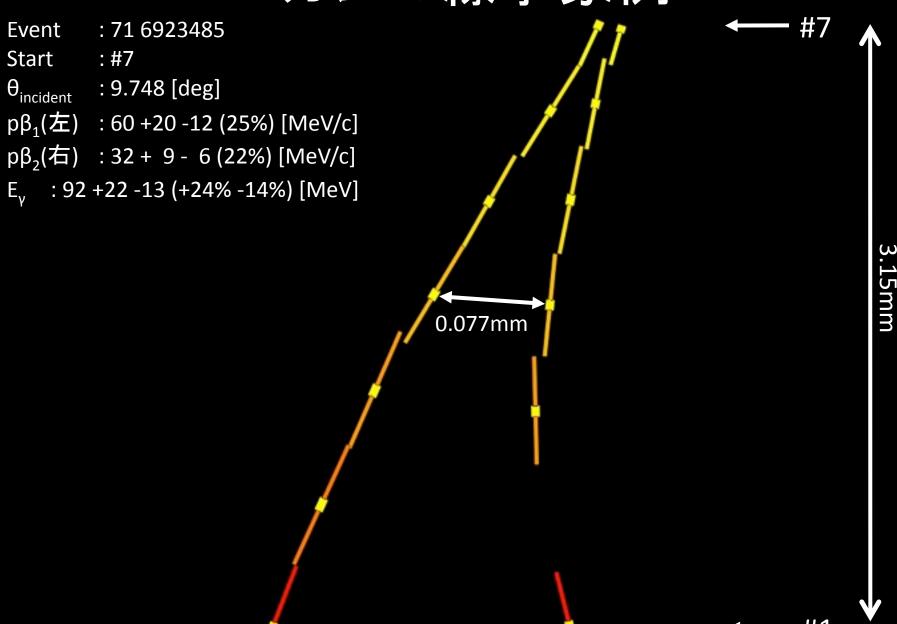
E γ >50MeV |tan θ_{proj} |<1.0



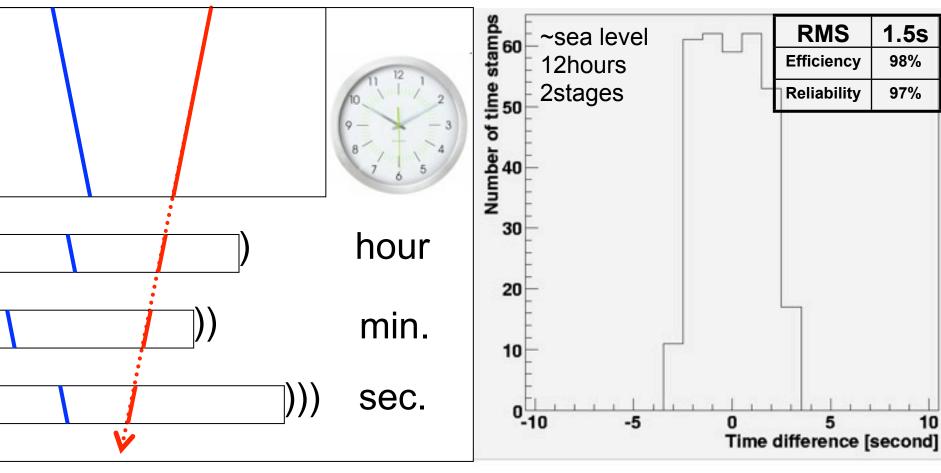
153events Reliability 97%



ガンマ線事象例



原子核乾板に時間情報を与える"多段シフター"



S.Takahashi et al., Nucl. Instr. And Meth. A, 620 (2010) 192-195 少ない物質量、高い位置・角度分解能をもつエマルションフィルムから構成
→低運動量閾値、高信頼性、高効率、大面積化可能
シンプルな構成、コンパクト、軽量、高電圧不要、低消費電力、デッドタイムフリー

Establishment of timestamp technique

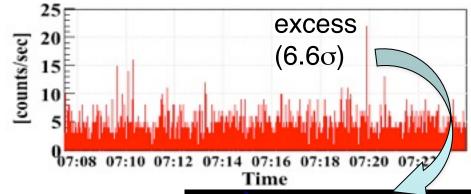
H.Rokujo, et al., NIM A, 701 (2013)

@GRAINE2011

"Multi-stage shifter" 1st model

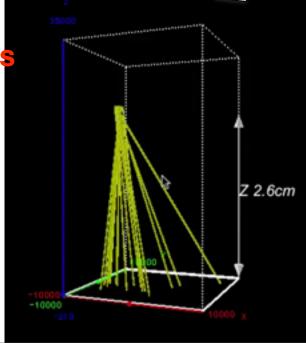
Aperture area: 12.5 x 10 cm²

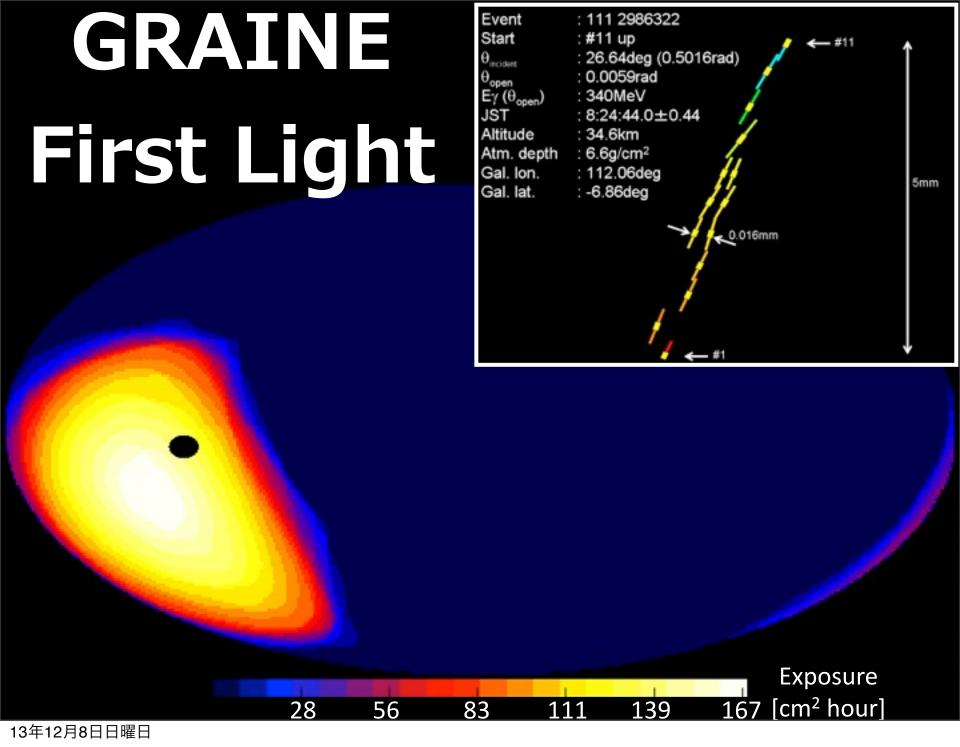
Track rate mesurement@35km



Detection of hadron events

- Correct operation during whole observation time
- •Giving time info. to all penetrating tracks
- Detection of hadron shower tracks by timing and 3-D spatial analysis
- •Time resolution: 0.15 sec





Hadron induced event

Ev: 2438038

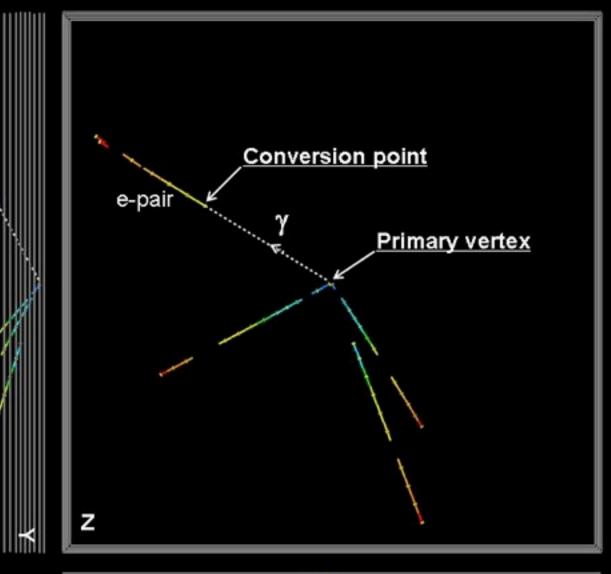
Eγ : 45+33-10[MeV]

 $\theta \gamma$: 46.61[deg]

7:18:34.5 (JST)

∆t=+-0.5s Convergence

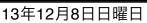
1.2cm x 1.2cm x 16films



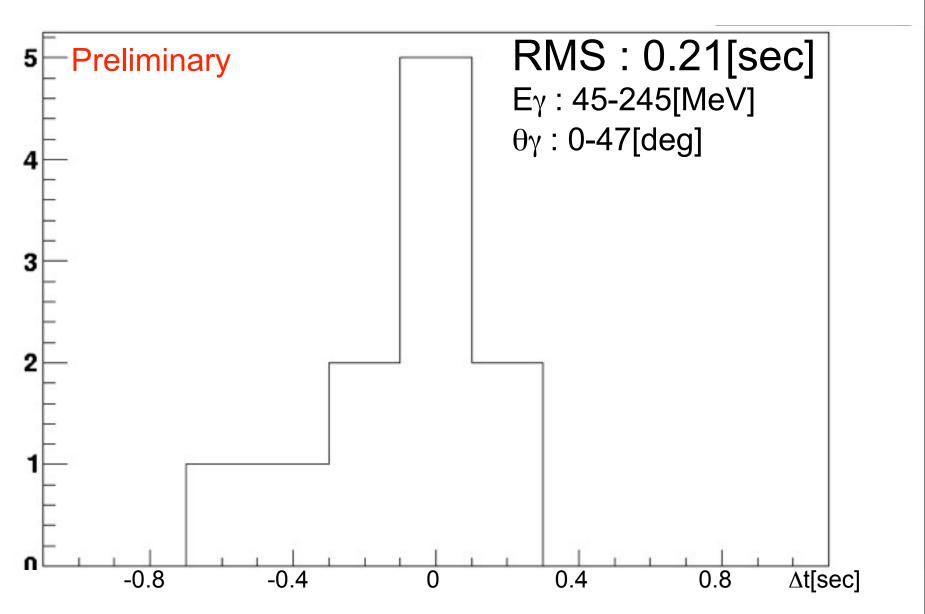
Pointing accuracy

 $\Delta\theta_{\text{space}}$: 0.65deg

(0.0114rad)



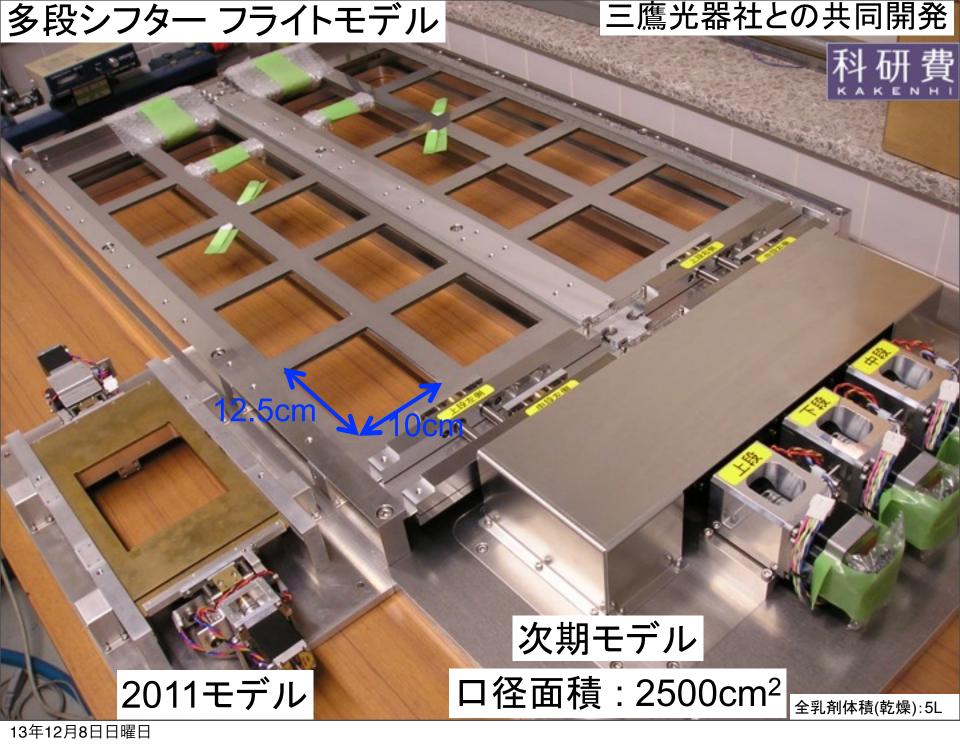
ガンマ線 タイムスタンプ精度



GRAINE ロードマップ

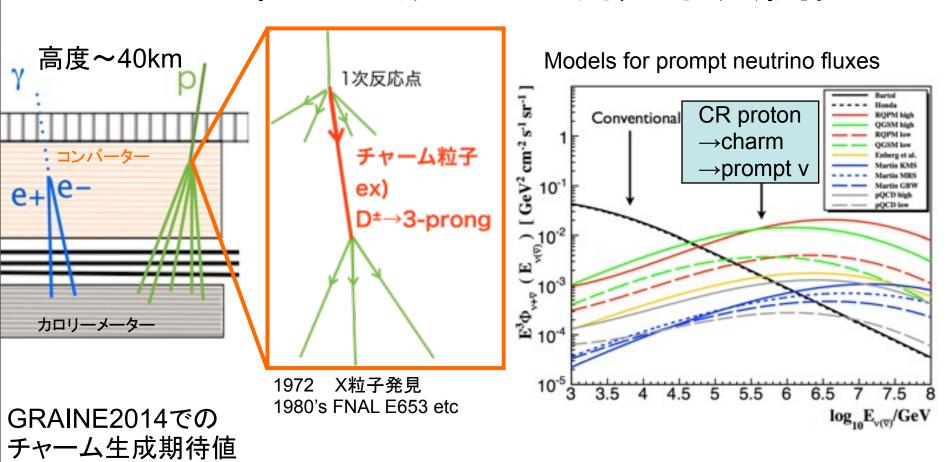
- 2011年6月8日, 大樹航空宇宙実験場(北海道), JAXA大気球実験
 - 口径面積:12.5cm x 10cm, フライト時間:4.3時間 (1.6時間@35km)
 - 各構成要素の動作・性能実証、及び連動実証
 - 大気ガンマ線の実測
- 2014年度(予定), アリススプリングス(豪), JAXA国際大気球実験
 - 口径面積:2500cm², フライト時間:1日
 - 既知のガンマ線天体の観測試験
 - 最高解像度での撮像
- 2015年度-
 - 口径面積:10m², フライト時間:7日間を繰り返す
 - 科学観測開始

フィルム総面積~1500m²/フライト





気球高度での宇宙線由来 チャーム粒子生成レート測定手法開発



コンバーター	~10個
カロリーメーター	~10 ² 個

宇宙線チャーム生成レート(未実測)
→prompt vのpredictionにfeedback

まとめと展望

- ・ BO1:「超高解像度ニュートリノ検出器の開発」 高い空間分解能を最大限に活かすアプリケーション ⇒気球搭載エマルションガンマ線望遠鏡(GRAINE実験)
 - 超新星残骸からのガンマ線イメージング
 - 天体密集領域の高感度観測
 - ガンマ線偏光測定
- ・ 2011年、初気球実験を実施
 - 上空でのガンマ線検出→時間情報付与(δt~0.1秒)
 - →姿勢決定→イベントポインティングを確立。
- ・ 2014年豪州でのフライトに向けて準備進行中。
 - 高感度フィルムを全面的に導入する。
 - Velaの検出、最高精度での結像を目指す。